

令和 7 年 (2025 年) 年 6 月吉日

関係各位

九州旧石器文化研究会

会長 村崎 孝宏

第 51 回 九州旧石器文化研究会（長崎大会）のご案内

向夏の候、ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。

さて、今冬、第 51 回九州旧石器文化研究会長崎大会「黒曜石・安山岩・流紋岩－石器石材が物語る旧石器時代像－」を、別添のとおり開催することとなりました。

今回は近年研究が進展しつつある石器石材に焦点を当て、九州の三大石材である黒曜石・安山岩・流紋岩を中心にモノの動きを把握し、当時の移動や生産領域の解明を目的として開催いたします。

本大会が、今後の九州地方の当該研究をより発展させていく契機となれば幸いです。
時節柄、ご多忙のこととは存じますが、お誘い合わせの上、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

第51回 九州旧石器文化研究会（長崎大会）

1. テーマ 「黒曜石・安山岩・流紋岩 一石器石材が物語る旧石器時代像一」

2. 趣旨 旧石器遺跡では、石器やその材料となる石器石材のモノの動きを研究することで、当時の集団間の接触や交易或いは集団領域を想定できる。今回、石材産地推定による東日本の研究事例や西北九州域の石材研究の現状を把握するとともに、百花台遺跡群における実践事例を基軸に理化学分析を原位置に反映させることで見える旧石器像を探りたい。さらに、九州の三大石材黒曜石・安山岩・流紋岩に着目し、石器石材から移動や生産領域を探るきっかけとしたい。

3. 主催 九州旧石器文化研究会

4. 共催 長崎県埋蔵文化財センター・雲仙市教育委員会・日本旧石器学会

5. 開催日 令和7年（2025年）12月13日（土）・14日（日）

6. 会場 国見町文化会館まほろば・多目的ホール（長崎県雲仙市国見町土黒甲 1079-1）

7. 日程

12月13日（土）[1日目]（13時開始、17時終了）

13:00～13:10 開会行事（新会長挨拶・開催地挨拶・事務連絡等）

13:10～13:15 趣旨説明

13:15～14:00 [基調講演1] 「(仮) 黒曜石が語る旧石器時代像」
堤 隆（明治大学黒曜石研究センター）

14:00～14:45 [基調講演2] 「(仮) 西北九州の石器石材研究の現状と諸問題」
隅田 祥光（長崎大学）

14:45～15:00 休憩

15:00～15:30 [基調報告1] 「(仮) 土黒川流域における石器石材と集落遺跡」
辻田 直人（雲仙市教育委員会）

15:30～16:00 [基調報告2] 「(仮) 多久産安山岩からみた行動領域」
越知 瞳和（佐賀県文化課文化財保護・活用室）

16:00～16:30 [基調報告3] 「(仮) 祖母傾山山系の流紋岩からみた行動領域」
沖野 誠（西都原考古博物館）、桑村壮雄（大分県教育庁）

16:30～17:00 [基調報告4] 「(仮) 南九州における石器石材と行動領域」
馬籠亮道（鹿児島県文化振興財団）、寒川朋枝（鹿児島大学）

18:30～ 情報交換会 会場：割烹旅館 雲仙観月荘（※参加者宿泊は各自）

12月14日（日）[2日目]

9:00～10:00 資料見学会 百花台遺跡群、各県石材資料見学、ポスター（資料）セッション
○長崎県埋蔵文化財センターの蛍光X線分析の研究の現状
片多雅樹（長崎県埋蔵文化財センター）・川道寛（西海市教育委員会）

10:00～11:30 討論「黒曜石・安山岩・流紋岩一石器石材が物語る九州の旧石器時代像一」
コーディネーター：松本茂（西都原考古博物館）・芝康次郎（奈良文化財研究所）

11:30～11:40 閉会行事

13:00～14:00 現地見学会（希望者のみ）一国見館～栗山遺跡～百花台遺跡群～

【参加申込について】

研究会へ参加をご希望の方は、氏名・連絡先・情報交換会参加の有無をベタ打ちでかまいませんので記載の上、メールにてお申し込みください。

【申込先】kyushu9sekki18 アットマーク yahoo. co. jp

【締切】12月1日（月）

研究会の参加費は無料ですが、別途資料代がかかります（値段未定）。

問合せ先 長崎県佐世保市 柳田裕三・中原彰久

Mail : kyushu9sekki18 アットマーク yahoo. co. jp

（スパム対策ですのでアットマークを変換してご使用ください）

情報交換会 会費 7,000円程度

※ 詳細な場所・時間は当日、研究会場でご案内します。

※ 人数把握のため、事前の申し込みをお願いいたします。

宿泊先 宿泊は各自でご手配ください。

以上